



中野区議会議員 無所属

佐藤ひろこ

うさぎだより

[事務所] 〒164-0001中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001中野区中野4-8-1 市民自治控室 TEL.3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail: usagidayori@hotmail.com 編集:住民自治をすすめる会 発行:市民自治

区民参加で先を見据えて

新しい中野をつくる10カ年計画

3年半前の区長選挙の時に、田中大輔氏が区民と共に掲げた公約の大きな柱の一つが、「区民参加で先を見据えて 中野区基本構想の改定と今ある施設のサービスのあり方や運営方法、配置などを総合的に見直すこと」でした。また、公約どおり毎月2回の区民と区長の対話集会を重ねてきました。対話の区政をさらにすすめる、より良い計画の実現へとつないでいくことが、区民サービス充実のために必要です。



北川正恭さん(前三重県知事)と

障害者自立支援法で どうなるの？

(二〇〇五年十一月議会質問)

国の介護保険法改正、障害者自立支援法成立により、4月から高齢者・障害者の福祉サービスが大きく変わる。

当事者を尊重した
相談支援を！

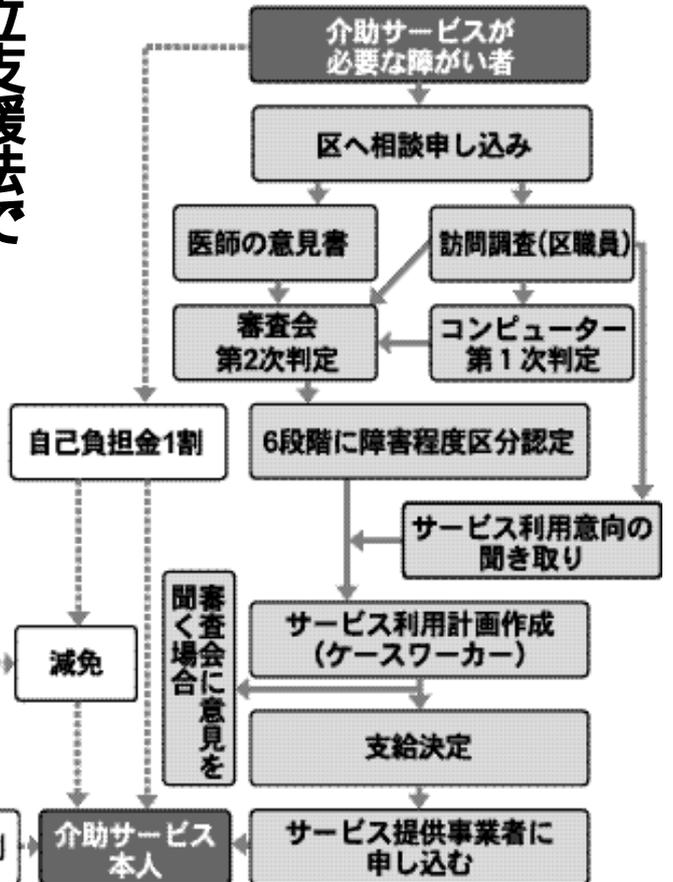
13年ぶりに健全化！
二〇〇六年度予算
財源対策(借金や貯金の取り崩し等)をしない予算が組めたのは、13年ぶり。起債をしなかったのは、38年ぶり。
財政調整基金の取り崩しをしなかったのは17年ぶり。人件費比率が30%を切ったのは12年ぶり。公債費比率は7.5%に下がり大幅に改善。

佐藤 利用料負担を低く抑えるために、様々な減免制度がもたらされたが複雑だ。わかりやすく情報提供し、本人の意向を尊重したプランづくりを行なえる相談支援体制を。
田中区長 重要なものとして

審査会委員は？

相談支援事業を位置付け、当面障害担当ケースワーカーを充てる。さらに身近な地域で相談が受けられるように、民間の人材の養成と人材を生かす委託の仕組みも検討したい。

佐藤 判定を行なう審査会委員には障がい者の地域生活が良くわかる人を選ぶべきだ。
田中区長 障害程度区分を判断するにふさわしい学識、経験を持った方を考えている。



これからの中野区政 2006年度予算と10カ年計画

お話 田中大輔区長
4月1日(土)午後2～4時
スマイル中野3階A・B会議室

主催 市民自治政策研究会

財源は大丈夫？

田中区長 自立支援給付(ホームヘルプ等)は4分の3国都府の負担の義務化がされたが、地域生活支援事業(移動支援等)は国の予算内という前提条件がつくので、区の財政負担が増える懸念がある。

移動支援の充実を！

佐藤 必要なだけ移動介助サービスが受けられるようにするべきだ。移動支援であるガイドヘルプは、現在通学や通勤に使えないが、新しい就労先に通う最初の一定期間利用でき

る等の検討を。

田中区長 移動支援は仕組みを工夫しながら、必要なサービスは確保したい。就労に関する移動支援は就労初期の段階に限定してのサービス提供について研究したい。

本町五丁目知的障害者通所施設について

佐藤 来年度建設される本町五丁目知的障害者通所施設は重度重複の人も利用できるような整備を。医療的ケアが必要な人も利用できるように、人件費加算等を国や都に要望を。

田中区長 重度重複の人の利用も想定している。医療的ケア

について都との協議も含め検討していく。

自立支援医療について

佐藤 原則定率一割負担になるが、負担が大きくて必要な医療を受けられないということがないように。

田中区長 精神医療公費負担は都の事業となっているので、都の検討内容に注目していく。

必要なサービスの確保を！

佐藤 中野区は特に重度の難病や障がいの方々の介護サービスがいきとくよくように、他区

に比べてがんばっているとの声もある。障がいが重くても地域で安心して暮らせるように、区は手立てを尽くすことが必要だ。区長の決意は？

田中区長 自治体の責任として中野区における体制整備を図り、制度運営をしていく。

今後のスケジュールは？

佐藤 利用者への制度の説明、申請などのスケジュールは？保健福祉部長 4月に新たな負担が導入される。現在受けているサービスは10月まで変わらない。10月から障害者自立支援法の事業に移行する。改めて

介護保険法改正でどうなるの？

区財政への影響は？

田中区長 法改正によって、給付費の伸び全体としては抑制されると思う。一方、対象者数や利用率の増加もあり、区の財政負担は増加することになると考えている。

区の組織の見直しは？

田中区長 新たに虚弱な高齢

介護保険料は？

佐藤 低所得者の負担が大きくなるように。

田中区長 第1号被保険者の保険料平均額は、月額4200円から4300円程度の間と

試算している。低所得の方にも配慮した設定を行いたい。

地域支援事業の介護予防サービスは？

佐藤 閉じこもり、認知症、うつなどの地域支援事業はどのように行なうのか。他区での取り組みも参考に、地域の人材を生かした認知症予防サービスを展開してはどうか。

地域密着型サービスは？

佐藤 夜間対応型訪問介護や一時宿泊機能も備えた小規模多機能型居宅介護施設の整備計画は？

田中区長 10力年計画で夜間対応型訪問介護は2事業所、小

健康危機管理は？

規模多機能型居宅介護拠点を12カ所程度、誘導整備を検討。

佐藤 結核の広がりや新型インフルエンザ対策など健康危機管理への取り組みは？

保健所長 子どもの結核についての講演会や罹患率が高い人への健診、新型インフルエンザに関する情報収集や医療の確保など、健康危機への具体的な対応に万全を期す。



神戸市にある「えんびつの家」。共に地域で生きる」を理念に障がい者のデイケアやグループホームなどを自前ではじめた。1階はパン工場。

佐藤ひろこの活動日誌から

- 10月
- 1・2 中野まつり
- 3~7 決算特別委員会・分科会
- 8 アポロ園まつり
- 10 ももそのデイクラブ
- 12 決算特別委員会
- 13 本会議
- 15 障害者会館まつり
- 17-19 総務委員会
- 20 中野駅周辺整備・交通対策特別委員会
- 23 東部運動会・女たちの戦争と平和資料館見学
- 24 本会議
- 25・26 神戸市震災復興10年の経過等総務委員会視察
- 28 区民の会お茶会
- 29 ILねこの手講演会
- 11月
- 5 女性会館まつり
- 6 チャランケまつり
- 9 総務委員会
- 10 補正予算内示
- 11 ビデオ「日本国憲法」9条について話す会
- 12 消費生活展・10ヵ年計画素案説明会
- 13 養護学校保護者の方々と懇談会
- 18 みずのと幼稚園の方々と意見交換会
- 23 三島市ヘグランドワーク三島の活動見学
- 24・25 本会議(佐藤ひろこ一般質問)
- 27 ILねこの手主催 車椅子でボウリング
- 28 本会議
- 30~2 総務委員会
- 12月
- 2 中野あいにく会グループホーム・視覚障害者福祉大会
- 3 中野駅前トーク
- 4 ふえみんバザー
- 5 中野駅周辺整備・交通対策特別委員会
- 6 区主催ワークショップシニアリングシンポジウム
- 7 本会議
- 8 アポロ園親の会と懇談会
- 11 日本評価学会で発表
- 16 北川正恭氏・田中区長トークセッション
- 18 障害者政策研究全国集会・ふえみんの中野北支部例会
- 20 中野だいすき会
- 21 中野駅前トーク
- 22 区主催障害者自立支援法についての講演会

希望の持てる 幼児総合施設を!

佐藤 4年後に区立幼稚園2園を民間幼児総合施設に転換する案が示されている。より良い子どもの育ちの場として運営の転換を行なっていくことが大切だ。どのような園づくりを検討しているのか。

子ども家庭部長 保護者の就労の有無にかかわらず教育・保育を実施し、子育て家庭への相談支援や乳幼児親子の交流の場等、新しい機能を盛り込んだ幼児総合施設を検討している。

児童館の機能の 充実を!

佐藤 児童館機能をどのように

に強化し、地域展開していくのか。子ども家庭部長 これからの児童館は子育てをめぐる地域のコミュニケーションの連携の中心になることを目指している。来年度から全児童館が小学校の校庭等を活用して、遊び場事業を実施する予定。

民営化の ガイドラインを!

佐藤 民間が行う公共サービスの質を確保するための基準等を定めたガイドラインを検討してはどうか。

田中区長 サービスの向上と利用者の権利擁護を担保する仕組みが必要であると考えている。区が適切に関与していく基準を整備していきたい。

ホームページの日記から
<http://homepage2.nifty.com/usagidayor/>

自治体改革最前線

12月16日 北川正恭氏講演会



大輔中野区長とのトークセッション。司会の北川正恭氏は、自治体改革について話したが、この感想をたくさんいただいた。これからの自治体改革に対するお二人の熱意が伝わり、北

佐藤ひろこの収支報告

2005年7~11月

	7月	8月	9月	10月	11月
収入					
報酬	¥588,200	¥588,200	¥588,200	¥588,200	¥588,200
費用弁償	¥2,400	¥3,000		¥27,000	¥36,000
支					
税金	¥55,240	¥55,240	¥55,240	¥55,240	¥55,240
年金・保険	¥151,680	¥151,680	¥151,680	¥151,680	¥151,680
活動費	¥28,377	¥48,009	¥36,468	¥57,953	¥33,955
出					
積み立て	¥24,000	¥3,000		¥27,000	¥36,000
残	¥331,303	¥333,271	¥344,812	¥323,327	¥347,325

川さんの言う「北京のチヨウチヨ」が中野でもたくさん羽ばたきそう。

越冬支援の炊き出し

1月3日 ホームレス越冬支援の炊き出しを池袋の公園でお手伝い。特に年末年始は凍死や衰弱を防ぐためボランティア団体が毎日炊き出しを行っている。ボランティアの大半は若者たちである。当事者の方々と一緒にふるさとの話などをしながら材料を切ったりした。所得格差のひろがりを感じた。

阪神・淡路大震災から 11年目

六四三三人の死者を出した阪神・淡路大震災から11年目の日。亡くなった方への下敷きになった。木造住宅が密集し高齢化がすすむ中野区においては、特に木造住宅の耐震補強施策が重要。中野区は2つの耐震診断・補強支援制度をつくっている。まだまだ利用者が少ないので、区は働きかけを強める予定。

あとがき

これから高齢者はどんどん増えます。自分も含めて親や祖父母が介護が必要になった時、最適な環境で介護をとだれもが思います。介護費用もどんどん増えるでしょう。しかし、一方で中野区の出生率は、0.75で3年前の半分です。このままでは少ない人数の次世代の子ども達が多くの高齢者を支えなければならなりません。今までとすべて同じやり方で行政サービスをやっていると、行政サービスのやり方を変えていく覚悟が必要だと思えます。今年はその大事な節目の年です。

施設の再編で区民サービスを充実

「新しい中野をつくる10ヵ年計画」決定

●福祉サービスの充実

- * 総合公共サービスセンター4ヵ所新設
保健福祉センターや地域団体の福祉サービスの拠点を再編後の学校施設に。
- * 高齢者向け賃貸住宅40戸を500戸に増
- * 在宅生活を支える多機能型介護施設9ヵ所新設
通所や一時宿泊もできる施設を再編後の区施設に。
- * 認知症グループホーム14ヶ所誘導
- * 障害者グループホーム10ヶ所誘導

●子育て支援の充実

- * 地域子ども家庭支援センター4ヶ所新設
- * 民営化で建替え保育園の充実6ヶ所
- * 区立幼稚園を幼児総合施設に拡充2ヶ所

* 児童館機能の拡大

小学校施設を活用した遊び場機能の展開
子ども家庭支援センター機能の充実

* 母子生活支援施設の建替え拡充

●区民活動支援の充実

- * 15ヶ所の区民活動センター
現在の地域センターを区民活動の場として継続。出張所機能は5ヶ所の地域総合窓口を集約。
- * 地域スポーツクラブ2ヶ所新設
- * 文化芸術活動の拠点1ヶ所新設
- * 産業・創業支援の拠点2ヶ所新設

●防災公園の整備

北部防災公園・警大跡地防災公園・南部防災公園検討



- ① 保育園
- ② 幼稚園
- ③ 防災公園
- ④ 総合公共サービスセンター
- ⑤ 区民活動センター
- ⑥ 小学校
- ⑦ 中学校
- ⑧ 福祉施設
- ⑨ 地域総合窓口
- ⑩ 用途未定

小・中学校再編計画前期

2008年 横三小+横丘小+林町小	横三小に統合新校
第六中+第十一中	第十一中に統合新校
2009年 昭和小+東中野小	昭和小に統合新校
第一中+富士見中	第一中に統合新校
2011年 丸山小+沼袋小	丸山小に統合新校
野方小+沼袋小	野方小に統合新校
2013年 中央中+第九中	中央中近隣に統合新校

小・中学校再編計画前期5年分が決定した。後期分は5年後に10ヵ年計画の見直しの中で提案される予定。

